



白川中学校たより

白川中学校校報 19年度3月号
〒501-5629 白川村鳩谷北長 614 番地 1
Tel 05769-6-1360 Fax 05769-6-1906
学校の教育目標【ひとりだちできる生徒】

URL <http://school.shirakawa-go.org/~sirachu/> e-mail sirachu@shirakawa-go.org
白川中学校伝言板：<http://8307.teacup.com/shirakawagochu/bbs> (携帯電話も接続できます)

「悔い」のある人生を

3年生担任 椿倉大裕

「社会の点，めっちゃ悪かったあ。」
即座に，相手の顔をみながら，微笑んで聞きました。
「勉強した？」
「えっと・・・30分くらい。」
「そりゃ点とれんわ。」
「だってできんのやもん！まあいいわ。社会は・・・どーせできんで。」
テストが終わった後に，ある生徒とこんな会話をしました。
後から，違う生徒が話しかけてきました。
「社会めっちゃ頑張ったんですよ！でも点とれんかった・・・。問題のせいや！」
「何っ！」
「ウソですよ。先生，次は絶対点とるでな！」

こう話してくれた生徒は，次のテストで本当に点数が上がりました。答案用紙を手渡した瞬間の表情は喜びに満ちていました。

この2人の生徒の違いは何でしょうか？

私は，単に勉強したかしないかの違いではないと思います。テストの点数に対して「悔い」があるかないかの違いだと思います。

「悔いのないように・・・」とは，よく使われる言葉です。「悔い」のないほど精一杯の努力をして，その結果に満足することができたなら，本当に素晴らしいことだと思います。しかし，精一杯の努力をしなくても同じように「悔い」は残りません。むしろ，精一杯の努力をしてその結果に満足できなかった場合に，「悔い」は必ず残るものだと思います。

私は，中学生の時に剣道部に所属していました。当時，所属していた剣道部は，全国大会にも出場し，県大会でも上位に入賞するほどの強豪校でした。当然，私たちも入学当初から全国大会出場を目標としていました。もちろん，練習は休みなく，夜間にも自主練習のために道場へ通い，休日の遠征も当たり前の日々でした。その結果，新人戦では県大会で優勝するなど，実際に全国への切符は手が届く位置にもいました。ここまで「悔いのないように」精一杯の努力をしてきて，迎えた中体連県大会。結果は3位で全国大会出場という夢は絶たれ，夢を実現できなかったという大きな「悔い」が残りました。

今でも，もし人生をやり直せるなら，もう一度中学生に戻って夢を実現したいと思っています。ただ，この「悔い」があるからこそ，現在の自分があるとも思っています。次は「悔い」を残さないよう，精一杯の努力をして自分自身の夢を実現させたいと願っています。自分が夢を実現できなかったからこそ，生徒には夢を実現してほしい。そのための手助けを少しでもしたいと考えています。

夢を実現しようと願って，主体的に努力しても結果がでなかったときの「悔い」は，さらなる成長への原動力になるのではないのでしょうか。『精一杯の努力をせず，悔いのない結果を残すよりも，「悔い」のある人生を歩んでいきたい』私はそう願って，今自分にできる精一杯の努力をして生きていこうと思っています。

『何もしなかった悔いのない人生』よりも『いろんなことに挑戦して悔いのある人生』を。白川中学校から「ひとりだち」をする3年生だけでなく，今「ひとりだち」をするための準備をしている1・2年生にもこの言葉を贈ります。

3月の主な行事予定

	曜	行事予定	下校
1	土		
2	日		
3	月		16:20
4	火	生徒総会	17:20
5	水		17:20
6	木	3年修了式, SC	17:20
7	金	卒業証書授与式	17:20
8	土		
9	日		
10	月		16:20
11	火	富山県一般入試	17:20
12	水	富山県一般入試	17:20
13	木	岐阜県一般入試、海外研修説明会	17:20
14	金	岐阜県一般入試, SC 来校 海外研修説明会(2年生)	17:20
15	土	乗鞍合宿男女バレー	
16	日	乗鞍合宿男女バレー	
17	月		16:20
18	火	富山県入試合格発表	17:20
19	水	岐阜県入試合格発表	17:20
20	木	春分の日	
21	金	生徒会執行部・委員長選挙	17:20
22	土	チェリー杯女子バレー	
23	日	チェリー杯女子バレー	
24	月		16:20
25	火	修了式	11:20
26	水	学年末休業日	
27	木		
28	金	離任式 PTA 反省会・送別会(すみれ荘)	
29	土		
30	日		
31	月		

<<<<<キラメキ 結心>>>>>



【茅刈り活動を発表しました】

2月10日に世界遺産子ども大使フォーラムがありました。三重県の熊野古道センターが全国各地の地域に世界遺産を抱える小中学校に呼びかけて行った取り組みです。集まった地域は、自然遺産知床(北海道斜里町と羅臼町)、自然遺産白神山地(秋田県八峰町と藤里町)、文化遺産日光の社寺(栃木県日光市)、文化遺産白川郷・五箇山の合掌造り集落(白川中)、文化遺産紀伊山地の霊場と参詣道(和歌山県田辺市、奈良県十津川村、三重県尾鷲市)、自然遺産屋久島(鹿児島県屋久島町)です。

白川中学校は、2人が参加し、「茅かき、茅葺き等」の活動を発表しました。パワーポイントを使ったプレゼンテーションは、見事なものでした。日頃の学習の成果がとても表れていると感じました。また、各地の取り組みを知ることができ、改めて白川村を見つめなおす機会ともなりました。

【激励訪問：ありがとうございました】

3年生が、卒業に当たり、白川村更生保護女性会・白川村保護司会の方から、「貝の鈴」と図書券をいただきました。



ふる里の
母の思いの
愛の鈴悲しませないで
大切な人達を



【寄付：ありがとうございました】
「南部女性会」から雑巾をいただきました。活用させていただきます。